

友達同士の結束が強くなる時期に考えたい 家族の会話・子どもの役割

テーマ

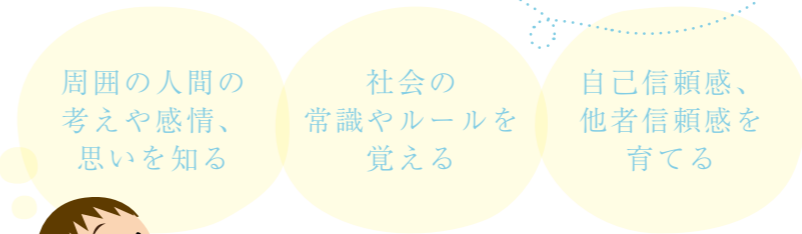
友達との関係性が強くなるにつれて、親の存在が徐々に薄れていく時期。家族の会話や家庭での子どもの役割はありますか？

会話をすることの大切さとは？

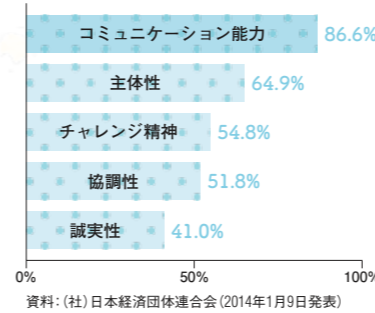
家族との会話の中で育つもの

「会話」とは、コミュニケーション方法の一つで、身に付けるべき技術と習慣

コミュニケーションの技術・習慣は日常の中で身に付きません。子どもが日常生活で最も多くふれあうのは家族であり、家庭内での会話がコミュニケーション能力を育てる一番の場所です。



会話をすることで、色々な情報や人の感情を知ることができます。また、「話を聞いてもらえた・受けとめてもらえた」という経験は教育上、重要な要素です。



コミュニケーション能力が重視されて10年

日本経団連が毎年行っている調査では、企業が採用選考時に最も重視する要素は10年連続で「コミュニケーション能力」が1位。小さい頃から会話を通じて子育てを行うことは、将来のためにもなりますよ。

普段あまり話さない子どもに話をしてもらうには？

- ◆ 話を始めたら聞き役に徹する
- ◆ 内容に疑問を感じても口を挟まない
- ◆ 話をしてくれたことに対して喜び、認める

子どもが話し始めたときに口を挟むと「話さなければよかった」と感じ、話さない理由が増えます。話をしたくない理由ばかりが増えたまま中学生・高校生になると収拾がつかなくなる可能性があるため、この時期は特に大切です。



お話を聞いた先生



あさくらゆかり先生
心理カウンセラー・メンタルケアセラピスト
日本ライトカウンセリング協会理事。(株)キキウエルに所属し、これまでに5,000人以上の相談者と向き合ってきた。

小学校 3・4年生

「教えて・話して」は子どもにとって
命令に聞こえてしまう

会話することは「人に話をする(自分の存在や考えを再確認)」「人の話を聞く(相手の存在や考えを尊重)」というお互いを知るために必要なことです。良い会話をするのでお互いの理解が深まり、人間性も豊かになります。そんな会話(コミュニケーション)を身に付けるには、家庭での会話が必要です。親子の会話を通じて会話をするこの楽しさを体感させてあげてください。みなさんが家庭内の会話で不安に思っていることはありませんか？例えば、「子どもが「学校での出来事を話してくれない」と感じ

お手伝いをさせて

子どもに役割を与えよう！

どんなことをさせればいいのか？

- Step 1 自分に関すること**
初めて何かをさせるには、まず自分の布団をたたむ、食器を下げる、洗濯物を出すなど自分のことを自分自身で行えるようにさせましょう。
- Step 2 みんなのためになること**
Step 1 が問題無くできるのであれば、本格的なお手伝いとして掃除・食事の支度・買い物など自分以外の人のためになることにチャレンジ。



せっかく子どもがやる気になってお手伝いをしてくれても、親が間違った行動をとってしまったら台無しです。子どものやる気を失わせないように気をつけましょう。

お手伝いをさせるときに親が注意すべきポイント！

- 手伝いの内容を強制的に決め、押し付けない
- よほどの危険がない限り、任せたことに手出し口出しをしない
- 手伝った結果に不備、不満があっても親はやり直さない
- 子どもから正式に依頼されない限り、役割を代わりに行わない
- 手伝ってもらったら「ありがとう」と感謝の言葉を伝える

親の役割は仕分けをして明確にすると良い！

子どもの年齢が上がるにつれて親の役割が薄らいでいると感じていませんか？子どもを細かく管理することは減りますが、任せる・見守るという役割は増えます。子どもが自由に生活を始める時期だからこそ、親の役割は重要です。

管理する部分

本人に責任がとれないこと
(習い事の月謝など、お金に関すること)

任せる部分

失敗した時に本人が責任をとれること
(宿題・忘れ物など、本人のみが叱られ反省できること)

任せるけど見守る部分

失敗した時、人に迷惑がかかること
(学校の係の忘れ物・学校への伝言など、相手が困ること)

ている場合。実は、このこと自体は問題ではありません。子どもの話す、話さないという行為は性格的なもので、話をしない子どもは出来事の自己処理ができる子どもと言えます。ただ、親の立場としては学校での様子が気になり話をしたいものですね。そんな時「今日は何かあったの？教えて」という聞き方はやめてください。子どもにとっては「さあ、話さない」という命令に聞こえてしまう場合があります。普段から話をしない子といっても全く話さないという事はないので、話を始めたときにはしっかりと聞き役に徹してあげましょう。また、会話を増やす意味でも、家庭内で子どもに役割を持たせてあげることも大切です。子どもに役割を与えることで、家族内での存在価値が明確になり、家族の一員として認識することに繋がります。役割の手始めとして与えてあげるとは、お手伝いです。これは、自立を促すことや精神面での成長も望めます。すでにお手伝いの習慣があるという家庭は、子どもの興味があることを察知し、任せることを増やしていきましょう。